

第2回中野市老人福祉計画・介護保険事業計画策定懇話会資料への
意見等の概要及び市の考え方

No	意見等の概要	市の考え方
1	<p>介護現場では人手不足・ヘルパーが高齢化しており、募集をかけても応募がありません。新規のサービス依頼があっても人手不足を理由に断ってしまう状況です。在宅介護が必要な方はこれからも増えていくと思われ、人手不足の問題はどの事業所でも同じです。</p> <p>事業所の業務負担も大変なため、計画書などのサービス提供の事務作業を軽減できればと思っています。</p> <p>ヘルパーや介護士の有資格の方でも介護の仕事をされていない方もいると聞きます。何とか活用してほしいと思います。</p> <p>介護者がリフレッシュしたり、新しい福祉用具に触れたり、楽に介護ができる技術方法を教えてくれる講座があると嬉しいです。（介護ロボットなど見れる機会があれば見たいです。）</p> <p>介護する側がいきいき元気でいらればいいと思います。</p>	<p>介護現場での人材不足、また新規入職者数の減少による介護人材の高齢化や、事務負担の増加については、ご指摘のとおり全国的にも大きな課題となっています。</p> <p>第9期介護保険事業計画では、これまで以上に中長期的な視点で地域の介護サービス基盤を整備するために、人材育成への支援、職場環境の改善による離職防止、外国人材の受入環境整備等の取組のほか、介護職場の生産性向上に資するよう、介護ロボット・ICTの活用等、様々な支援・施策を国・県主導の下で推進していく考えです。</p>